

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年08月20日

計画の名称	総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進（第 期）													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	松山市													
計画の目標	現在、松山市では『安全で快適な暮らしを守り、美しい環境を未来へつなぐ下水道』という視点から、快適な暮らしづくり、安全なまちづくり、美しい環境づくり、健全で持続可能な下水道の4つの基本方針に基づいて、市民が快適な生活環境と快適な水環境を享受できる基盤整備を行い、地球にやさしく、災害に強い地域の形成を目指しています。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		447	A	447	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（R2末）	（R4末）
1	高度処理施設能力割合の向上			
	高度処理施設能力割合の向上 = 水処理施設の総処理能力のうち、高度処理施設の能力の割合	10%	15%	15%
2	下水熱導入可能性の検討実施			
	下水熱ポテンシャルマップを活用した導入可能性の検討実施件数	0件	件	1件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松山市	直接	松山市	終末処 理場	新設	水質保全下水道事業	高度処理化（処理場）	松山市	■	■				434		-
	A07-002	下水道	一般	松山市	直接	松山市	-	-	下水道リノベーション推 進総合事業	下水道リノベーション計画策 定（下水熱）	松山市					■	13		-
											小計						447		
											合計						447		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業実施主体にて実施	事後評価の実施時期 令和6年度
	公表の方法 市ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	高度処理の導入を進めることにより、高度処理施設能力割合が5%増加し、公共用水域の水質向上に寄与した。 また、下水熱ポテンシャルマップを1件作成し、下水熱の導入可能性を検討することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き、水環境向上のための基盤整備を実施していく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	高度処理施設能力割合の向上		
	最 終 目標値	15%	
	最 終 実績値	15%	
2	下水熱導入可能性の検討実施		
	最 終 目標値	1件	
	最 終 実績値	1件	